

カリキュラム・ポリシー／畜産学研究科畜産科学専攻（博士前期課程）

【専攻共通のカリキュラム・ポリシー】

帯広畜産大学大学院畜産学研究科畜産科学専攻博士前期課程ディプロマ・ポリシーに掲げた知識・技能等を修得させるために、以下の点に配慮して教育を行います。

（１）倫理観の養成

e-ラーニング等を用いた、倫理観を養成する科目を配置します。

（２）課題設定・解決能力の養成

アクティブラーニングを用いた、論理的思考能力を磨き、食の安全確保・生産性向上・環境保全に関する課題設定・解決能力を養成する科目を配置します。

（３）国際感覚を備えた実践力の養成

グローバル社会で活躍するための英語力を修得するため、英語によるプレゼンテーション能力や論文作成能力を高める科目を配置するとともに、身につけた表現力・コミュニケーション能力を実践するためのインターンシップ、海外演習、研究発表に関する科目を配置します。

（４）豊かな教養と幅広い学術基盤の形成

豊かな教養を身につけるための共通教養科目及び高度な専門性を修得するための専攻コア科目を配置するとともに、専門性の高い知識を分野横断的に修得するために、他コース専門科目を選択科目として配置します。

（畜産衛生学位PG）国際安全衛生基準の食品安全マネジメントシステムに関する知識及び技術を実践的かつ体系的に学ぶ授業科目を配置します。さらに企業等と連携し、それらの知識・技術の現場への応用を目指す演習科目を配置します。

【コース別のカリキュラム・ポリシー】

動物医科学コース	家畜生産科学コース	環境生態学コース	食品科学コース	農業経済学コース	農業環境工学コース	植物生産科学コース
上記（１）～（４）の専攻共通のカリキュラム・ポリシーに加え、下記のとおり各コースにおける高度な専門性を修得するための科目を配置しています。						
（５）伴侶動物、産業動物、実験動物、野生動物といった様々な動物を対象として、基礎、病態、感染症、病因制御、動物臨床科学等一連の動物医科学に関する幅広い専門分野を学ぶための科目を配置します。	（５）畜産を従来の生産学的視点だけではなく動物福祉や生態系への配慮等を含めた広い視点で捉え、家畜の生理や行動を理解しそれを遺伝的改良や生産性の向上へと繋げる基礎から応用までの最新の知識と技術を修得する科目を配置します。	（５）農畜産環境とそれを取りまく自然環境を保護から利用まで含めた広い視点で捉え、環境を構成する動物、植物、昆虫、微生物の役割と機能、相互作用、農畜産とのかわり、そして生態系の保全に関する最新の知識を修得する科目を配置します	（５）農畜産物を原料とした食品の製造・加工及びこれらの機能性・安全性に関して、分子レベルから工業生産レベルまでの広範かつ最新の知見と技術を学ぶための科目を配置します。	（５）わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源活用と、持続可能な物質循環を踏まえ、食料生産・流通・消費に関わる経済学や経営学に関する分野の高度な知識と技術を修得させる科目を配置します。	（５）わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源を活用し、持続可能な物質循環や地域資源を踏まえ、機械的・生物学的手法や土木技術手法による食料生産環境の改善に関する分野の高度な知識と技術を修得させる科目を配置します。	（５）わが国の食料基地と位置づけられる北海道十勝地域の資源を活用し、持続可能な物質循環や地域資源を踏まえ、植物の生理、生態、遺伝や土壌に関する高度な知識をもとにした植物生産の量的・質的向上に関する分野の高度な知識と技術を修得させる科目を配置します。